



平成 27 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 燦ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古内 耕太郎
 (コード番号 9628 東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員経理部長 大井 信三
 (TEL. 06-6226-1716)

資産除却の意思決定と業績予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会にて決定した「公益社 西宮山手会館」の建替え計画に伴う資産除却の意思決定等の影響および直近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 28 日に公表した平成 27 年 3 月期の通期の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,800	百万円 2,040	百万円 2,040	百万円 1,040	円 銭 185 17
今回修正予想 (B)	18,400	1,980	1,980	960	170 92
増減額 (B-A)	△400	△60	△60	△80	—
増減率 (%)	△2.1%	△2.9%	△2.9%	△7.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	18,062	1,638	1,621	953	169 80

2. 平成 27 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,270	百万円 1,280	百万円 920	円 銭 163 80
今回修正予想 (B)	4,280	1,270	830	147 78
増減額 (B-A)	10	△10	△90	—
増減率 (%)	0.2%	△0.8%	△9.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	4,509	1,540	1,288	229 32

3. 修正の理由・背景

(1) 資産除却の意思決定に伴う営業費用および特別損失の計上

①本日開催の取締役会にて「公益社 西宮山手会館」の建替え計画を決議したことにより、既存会館設備の除却の意思決定に伴う営業費用および特別損失の発生が以下のとおり見込まれます。

(単位：百万円)

意思決定事項	営業費用	特別損失	合計	うち平成27年3月期計上額		
				営業費用	特別損失	合計
西宮山手会館の建替え (新築リニューアル)	261.0	87.0	348.0	16.3	87.0	103.3

(注) 敷地東側の現 駐車場部分に新会館を建築する計画であるため、営業休止期間は見込んでおりません。

(ご参考)

新 西宮山手会館 新築工事着工 平成27年9月(予定)

現 西宮山手会館 解体工事着工 平成28年8月(予定)

②「公益社 天神橋会館」を平成27年6月、同一敷地内に新築リニューアルオープンすることに伴い、非営業部門の中長期的なコスト削減の観点から、燦ホールディングス(株)および(株)公益社の(大阪)本社・本部機能等を現 天神橋会館へ移転・集約することを平成27年1月に正式に決議いたしました。これにより既存会館設備等の除却の意思決定に伴う営業費用および特別損失の発生が以下のとおり見込まれます。

(単位：百万円)

意思決定事項	営業費用	特別損失	合計	うち平成27年3月期計上額		
				営業費用	特別損失	合計
現・天神橋会館への 本社・本部機能移転、集約	160.1	48.0	208.1	51.4 (40.5)	48.0	99.4 (40.5)

() 内は、前回業績予想に概算値で織り込み済み

(注) 新 天神橋会館がオープン後に、現 天神橋会館の事務所棟への改修工事に着手いたしますので、営業休止期間はありません。

(ご参考)

新 天神橋会館 営業開始 平成27年6月(予定)

本社・本部機能移転、集約完了 平成28年3月(予定)

(2) 当第4四半期(1～3月期)の営業の状況

第3四半期(10～12月)に関しては、葬儀施行の業績が低迷いたしました。当第4四半期(1～3月期)は、公益社の大規模葬儀の施行が好調であり、関西圏の一般葬儀の施行も概ね堅調に推移しております。

その結果、通期では営業収益は、前回公表の予想数値に対し4億円(2.1%)程度の未達にとどまるものと予想されます。利益については、発生を見込んでいた費用の一部が翌期に繰延べとなるため、相対的に未達額は軽微となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上